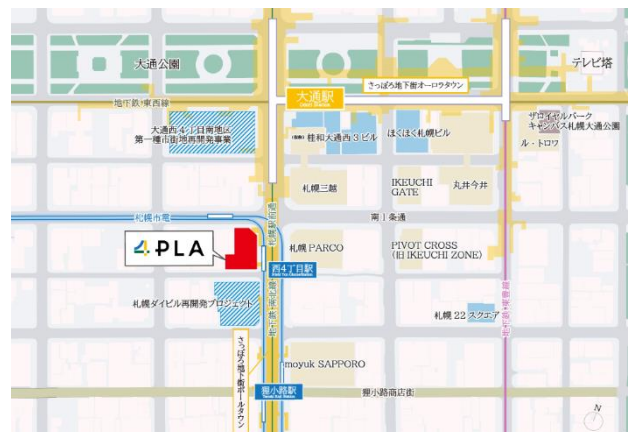


プラ ビジョン 札幌4丁目プレイス 1 階に「4PLA VISION」設置！

株式会社読売新聞東京本社(東京都千代田区/代表取締役社長 村岡彰敏)は、4月25日(金)に先行開業する再開発ビル「札幌4丁目プレイス」(札幌市中央区南1条西4丁目)の1階待合スポットに大型モニター(98インチ=右写真)を設置して、ニュースのほか、読売新聞社からのお知らせや道内で開催するイベントの情報などを放映します。待合スポットをご利用する皆様に役立つ情報を発信してまいります。

大型モニターの名称は「4PLA VISION」(4 プラ ビジョン)で、地下1階から地上3階を占める商業施設「4PLA」(4プラ)にちなんで名付けました。

モニターのあるカフェ併設の待合スポットは、札幌市電の停留所「西4丁目駅」の正面にあり、誰もが気軽に利用できる共用空間「まちのリビング」(※)でもあります。市電を待つ人や商業施設を訪れる人に、読売新聞社から様々な情報をお届けします。



(※)街を訪れる人たちが気軽に利用できる屋内・屋外の共用空間で、大通 T ゾーン札幌駅前通地区まちづくりガイドライン運用ルールに「商業空間と一体的に配置される多様な広場」と定められています。「まちのリビング」の竣工事例は「札幌4丁目プレイス」が第1号となります。

■読売新聞とのかかわり

先行開業する再開発ビル「札幌4丁目プレイス」の土地には、1949年(昭和24年)から1959年(昭和34年)まで読売新聞北海道総局(現・北海道支社)があり、北海道のニュースを発信していました。敷地の一部は1951年(昭和26年)から読売新聞社が所有していました。1971年(昭和46年)にアパレルなどの店舗が多数入る商業ビル「4丁目プラザ」が開業し、「4プラ」という愛称で親しまれ、札幌のファッション文化の発信基地の役割を担ってきました。2022年(令和4年)の閉館後に読売新聞社が敷地の全体を取得し、鹿島建設が「札幌4丁目プレイス」の建設を進めてきました。

お問い合わせ先

読売新聞グループ本社 広報部 TEL:03-3242-1111(代表)